

株式会社 MORESCO

地球にやさしいオンリーワンを世界に届けるMORESCOグループ

第65期定時株主総会

(2022年3月1日～2023年2月28日)

東証プライム 5018 (石油・石炭製品)

2023/5/30

01 事業報告

02 連結決算報告

03 市場区分の選択

04 第9次中期経営計画の進捗状況

05 持続可能社会の実現に向けた成長戦略

06 株主総会議案及び取締役紹介

01 事業報告

02 連結決算報告

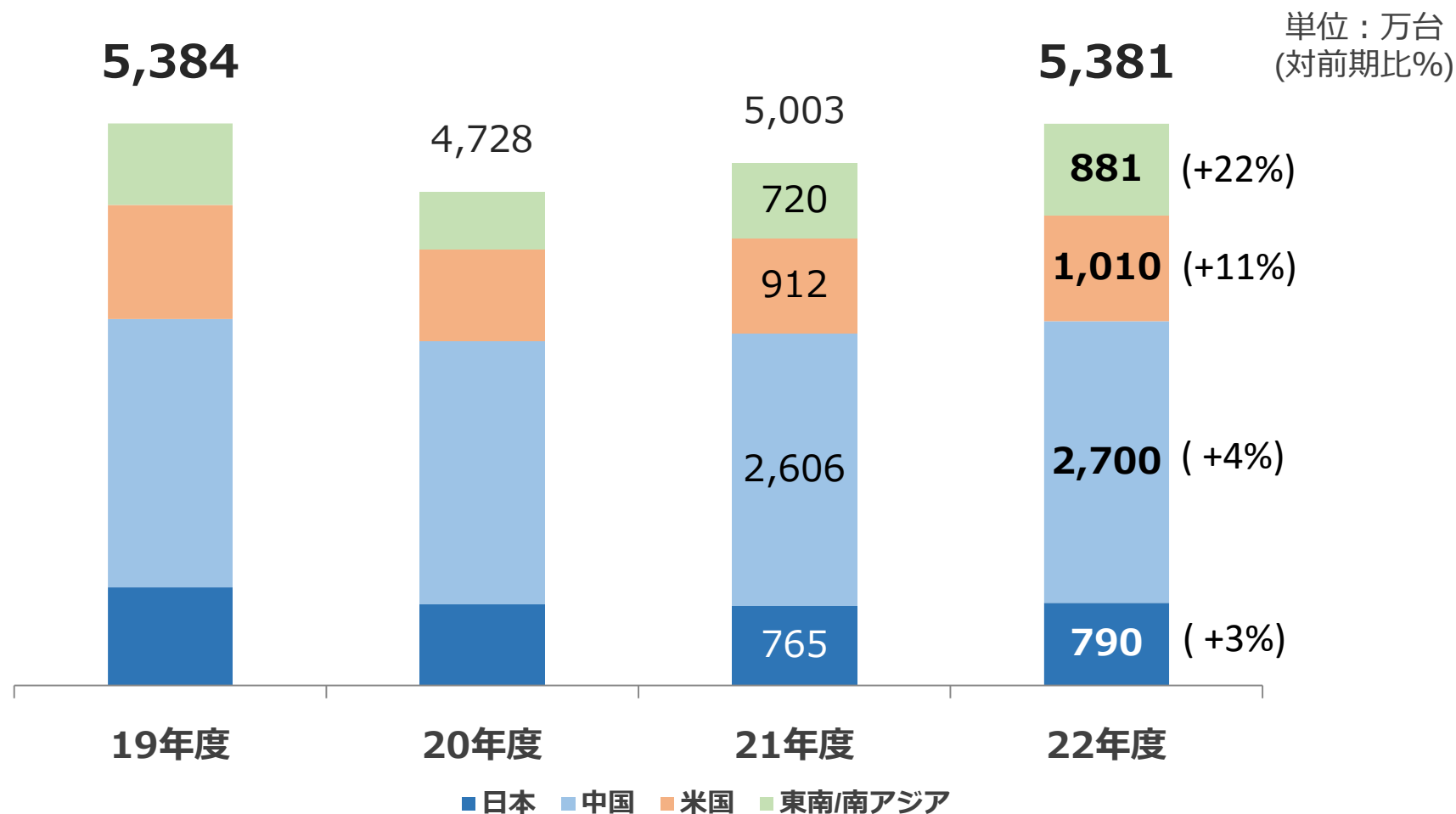
03 市場区分の選択

04 第9次中期経営計画の進捗状況

05 持続可能社会の実現に向けた成長戦略

06 株主総会議案及び取締役紹介

当社拠点所在地域における自動車生産台数推移

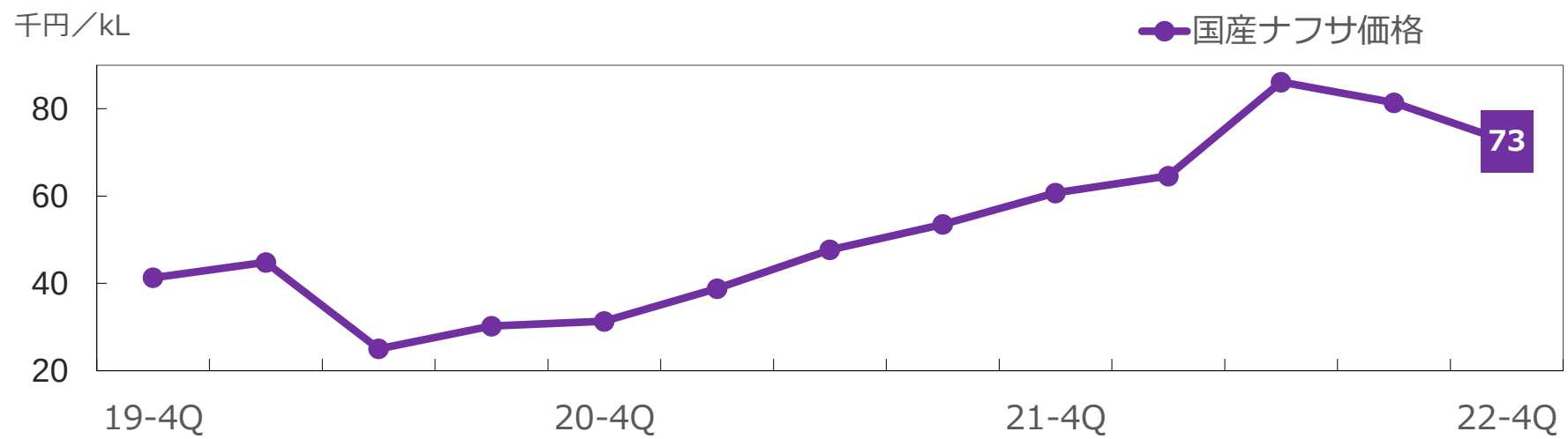
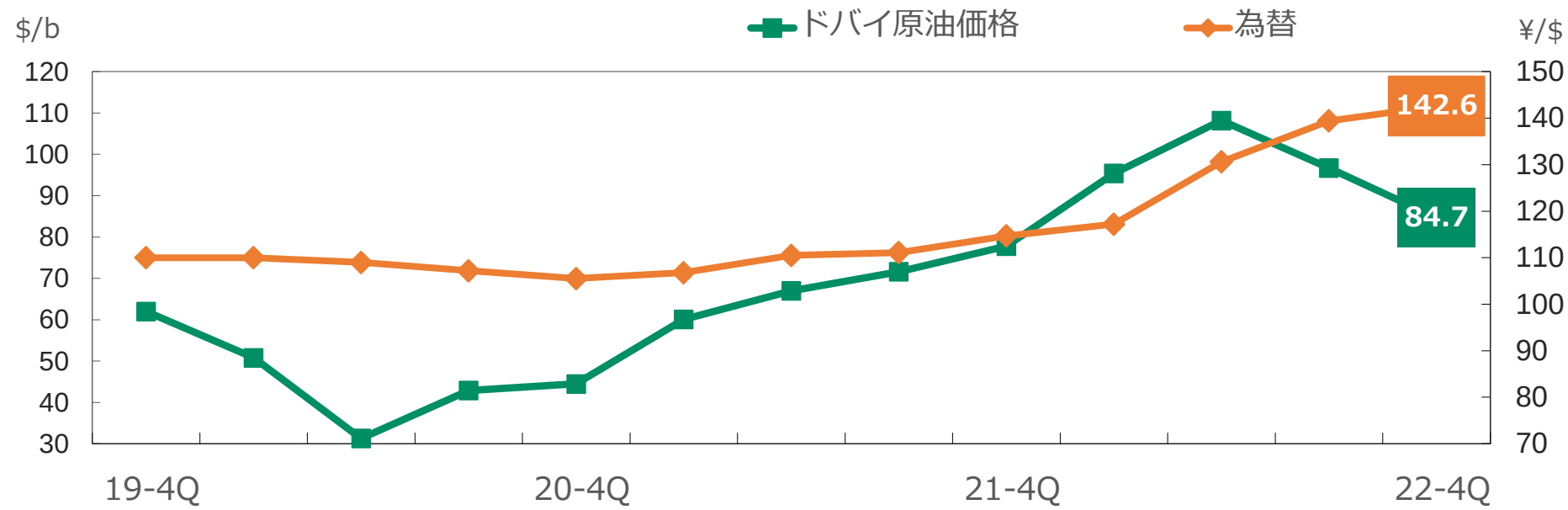


出典：マークラインズ社の公表データに基づく自社作成

注1：当社の会計年度に基準した集計データ（日本：3月～翌年2月 海外：1月～12月）

注2：東南/南アジアは、当社拠点にあるタイ、インドネシアとインドのみ集計対象

当期の経営環境 – 主要原材料価格及び為替の変動



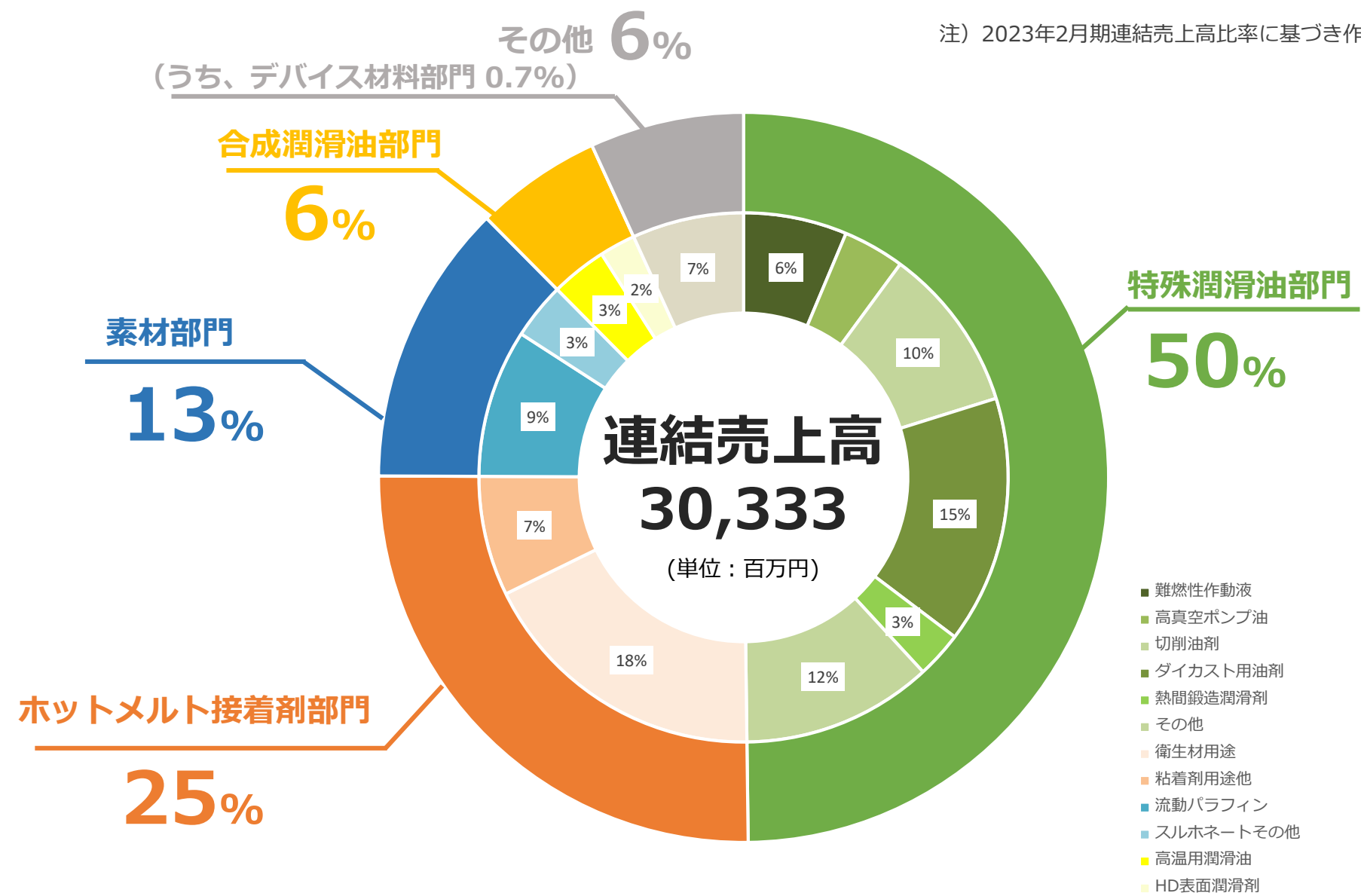
【増収】 製品販売価格の是正

【減益】 原材料価格の高騰

(百万円)	22/2期	23/2期	前期比
売上高	27,300	30,333	+11.1%
売上総利益	8,725	8,129	▲6.8%
販管費	7,291	7,606	+4.3%
営業利益	1,434	523	▲63.5%
営業外損益	577	523	▲9.3%
経常利益	2,011	1,046	▲48.0%
特別損益	833	—	—
税引前利益	2,844	1,046	▲63.2%
当期純利益 ※	1,808	615	▲66.0%

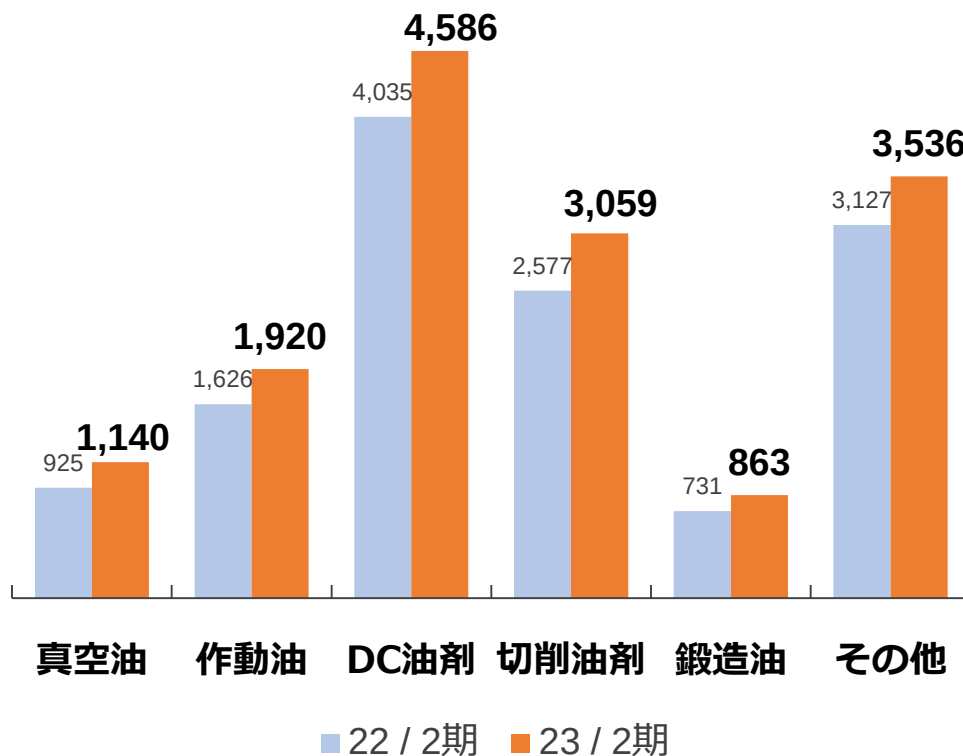
※ 親会社株主に帰属する当期純利益, 以下同様

注) 2023年2月期連結売上高比率に基づき作成



【売上高】 前期比**16.0%増**（15,105百万円） 【売上数量】 前期比**1.0%減**

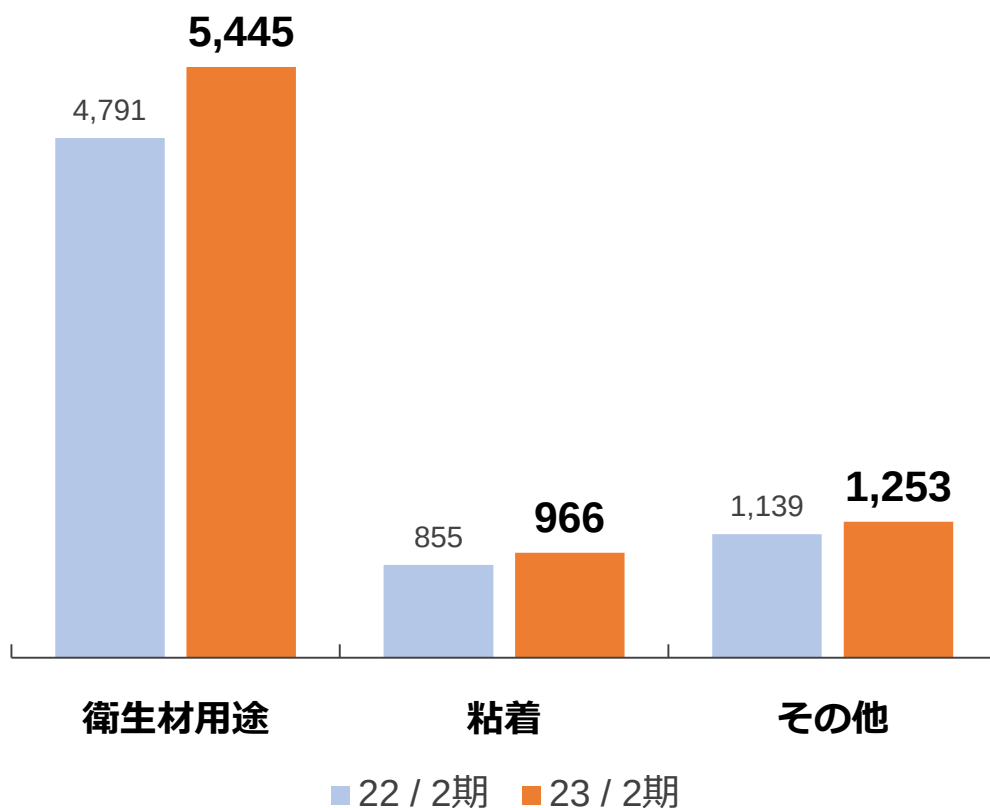
単位：百万円



- **日本**
主要顧客での自動車生産台数減の影響を受け、数量減少
- **海外**
東南アジア:下期以降の市場回復
中国:前期対比で微増

【売上高】 前期比**13.0%増**（7,664百万円） 【売上数量】 前期比**3.3%増**

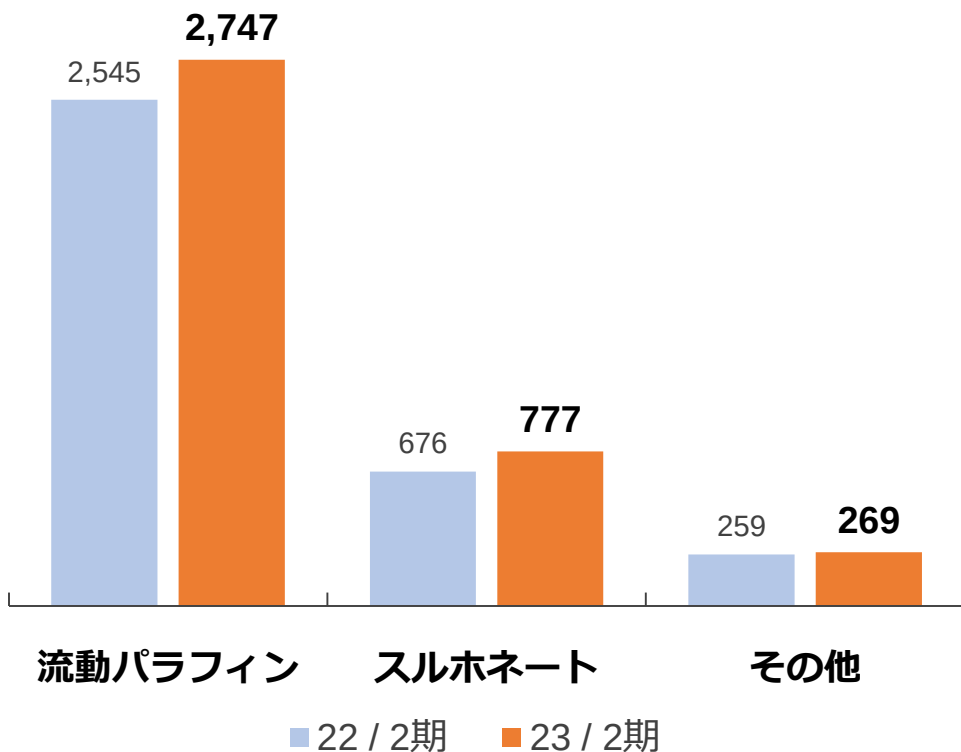
単位：百万円



- **日本**
衛生材用途が堅調、粘着用途が増販
- **海外**
インド及びインドネシアで増販

【売上高】 前期比**9.0%増**（3,793百万円） 【売上数量】 前期比**9.3%減**

単位：百万円



➤ **流動パラフィン**

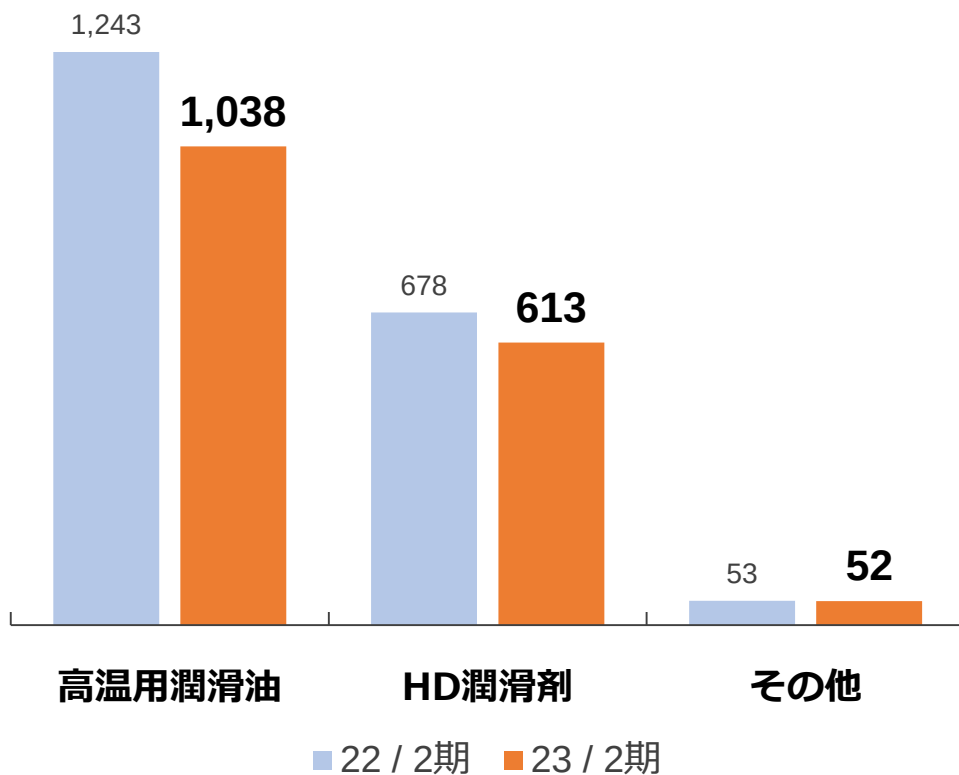
ポリスチレン可塑剤用途等の数量減少

➤ **スルホネート**

国内主要顧客での自動車生産台数減の影響を受け、数量減少

【売上高】 前期比**13.7%減**（1,703百万円） 【売上数量】 前期比**22.9%減**

単位：百万円



➤ 高温用潤滑油

顧客での在庫調整の影響を受け減収

➤ ハードディスク表面潤滑剤

データセンター投資の冷え込みの影響により減収

01 事業報告

02 連結決算報告

03 市場区分の選択

04 第9次中期経営計画の進捗状況

05 持続可能社会の実現に向けた成長戦略

06 株主総会議案及び取締役紹介

【増収】 製品販売価格の是正

【減益】 原材料価格の高騰

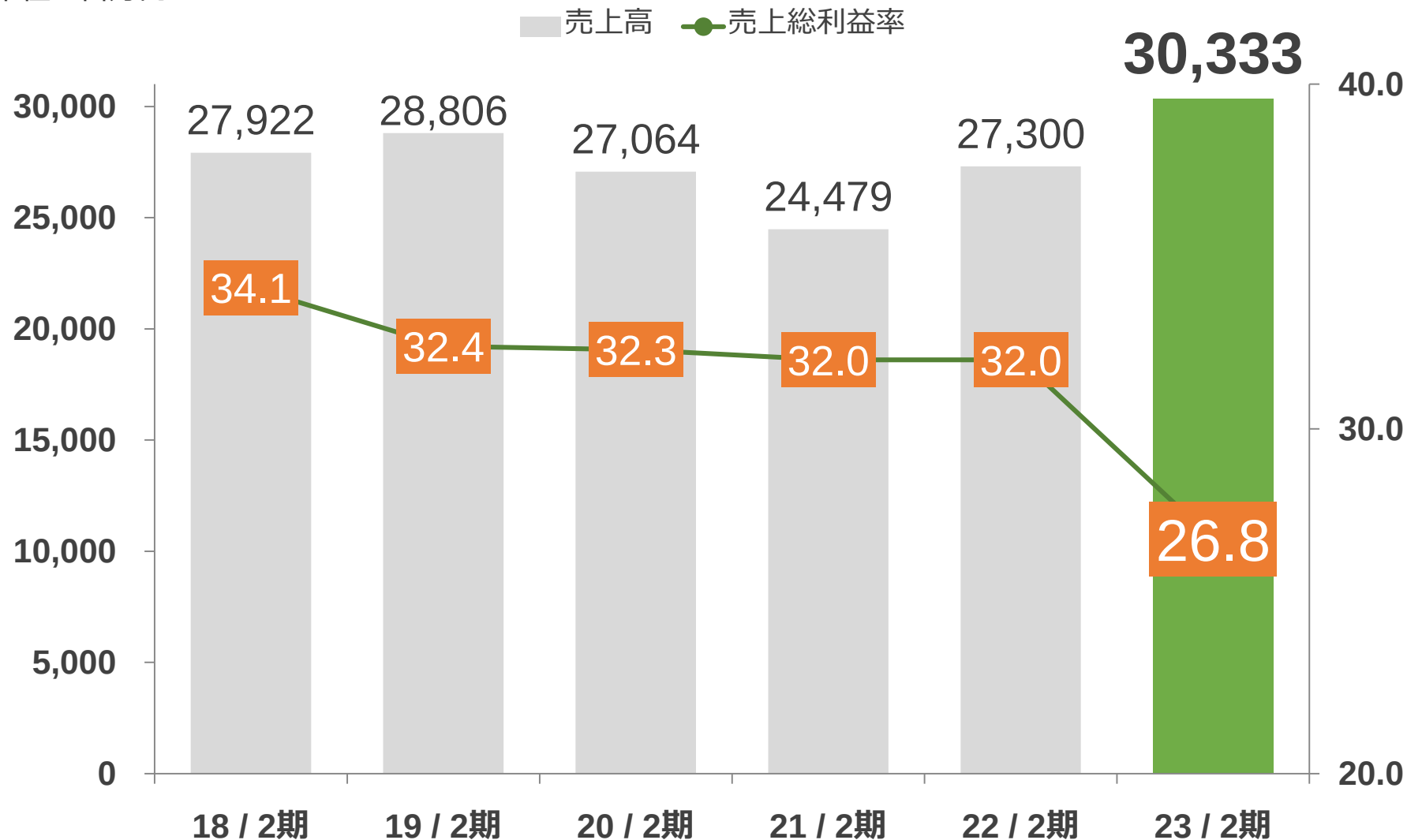
(百万円)	22/2期	23/2期	前期比
売上高	27,300	30,333	+11.1%
売上総利益	8,725	8,129	▲6.8%
販管費	7,291	7,606	+4.3%
営業利益	1,434	523	▲63.5%
営業外損益	577	523	▲9.3%
経常利益	2,011	1,046	▲48.0%
特別損益	833	—	—
税引前利益	2,844	1,046	▲63.2%
当期純利益 ※	1,808	615	▲66.0%

※ 親会社株主に帰属する当期純利益, 以下同様

売上高、売上総利益率の推移

単位：百万円

単位：%



連結損益計算書



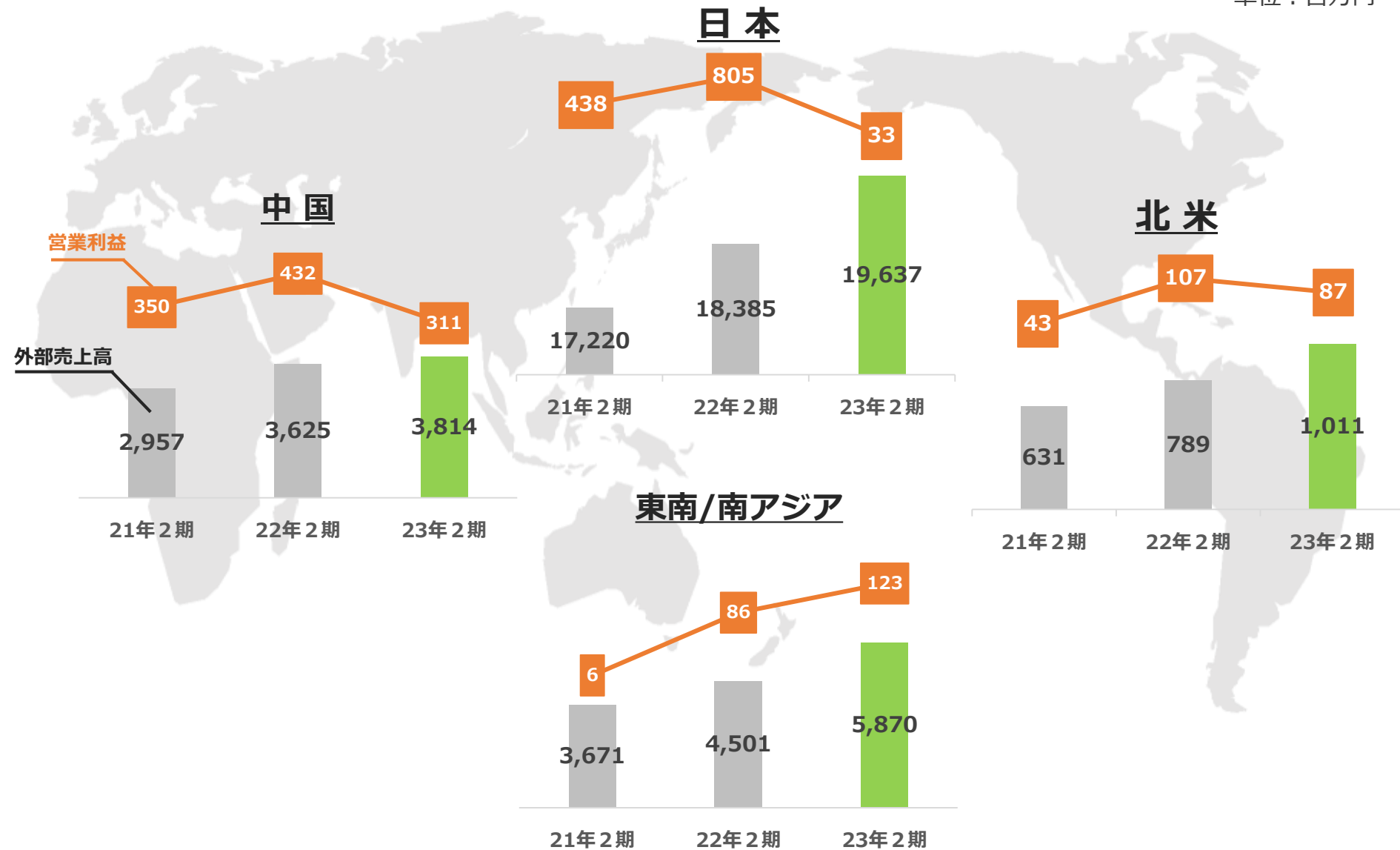
(百万円)	22/2期	23/2期	前期比	増減要因／内訳
売上高	27,300	30,333	+11.1%	
売上総利益	8,725	8,129	▲6.8%	
販管費	7,291	7,606	+4.3%	(要因) 円安による海外子会社 販管費増
研究開発費	1,359	1,246	▲8.3%	(要因)組織再編の影響による減少 この影響を除くと,前期比+1.8%
営業利益	1,434	523	▲63.5%	
営業外損益	577	523	▲9.3%	(内訳)為替差益295百万円 持分法子会社収益148百万円
経常利益	2,011	1,046	▲48.0%	
特別損益	833	—	—	
税引前利益	2,844	1,046	▲63.2%	
当期純利益 ※	1,808	615	▲66.0%	

※ 親会社株主に帰属する当期純利益, 以下同様

セグメント別損益推移

MORESCO

単位：百万円



貸借対照表（連結）

（百万円）	23/2期末	増減		23/2期末	増減
現預金	4,256	255	仕入債務	5,144	836
売上債権	7,595	752	有利子負債	2,853	1,943
棚卸資産	6,306	979	その他流動負債	2,074	▲319
その他	653	217	その他固定負債	707	▲140
流動資産計	18,810	2,203	負債合計	10,778	2,321
有形固定資産	8,610	307	資本金・資本剰余金	4,095	1
無形固定資産	589	▲43	利益剰余金	13,760	242
投資その他	4,008	543	自己株式	△567	▲183
			包括利益累計額	1,246	511
			非支配株主持分	2,706	117
固定資産計	13,207	806	純資産合計	21,240	688
資産合計	32,017	3,009	負債・資本合計	32,017	3,009

注）増減：22/2期末との比較

【増加理由】 売上拡大による運転資本増、新工場建設等の新規投資増

(百万円)	22/2期末	23/2期末	増減
短期借入金※	560	2,381	+1,822
長期借入金	350	472	+122
借入金合計	910	2,853	+1,943

※ 1年以内返済予定の長期借入金を含む

有利子負債比率	3.1%	8.9%
---------	------	------

(百万円)	22/2期末	23/2期末	増減
MORESCO	340	311	△29
連結子会社	939	1,007	+68
設備投資額計	1,279	1,318	+39
減価償却費	1,210	1,212	+2

23/2期 主要な設備投資内容（取得ベース）

- MORESCO 生産設備の更新
- 莫萊斯柯（浙江）功能材料有限公司 特殊潤滑油生産工場の建設（建設中）
- エチレンケミカル(株) 事務棟の建設（完成）

➤ 来期計画の前提

原油価格：90 \$ /b 為替レート：130ドル/円

(百万円)	23/2期	前期比	24/2期	前期比
売上高	30,333	+11.1%	34,500	+13.7%
営業利益	523	△63.5%	1,400	+167.7%
経常利益	1,046	△48.0%	1,600	+53.0%
当期純利益	615	△66.0%	700	+13.8%

	22/2期実績	23/2期実績
当期純利益	1,808百万円	615百万円
配当額	375百万円	369百万円
配当金/株	40円	40円※

※当総会にて確定

➤ 24/2期に5円増配予定

配当金/株：45円（記念配当5円含む）

01 事業報告

02 連結決算報告

03 市場区分の選択

04 第9次中期経営計画の進捗状況

05 持続可能社会の実現に向けた成長戦略

06 株主総会議案及び取締役紹介

▶ スタンダード市場への選択を決議

2023 年 5 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社 **MORESCO**
代表者名 代表取締役社長 両 角 元 寿
(コード番号 5018 東証プライム)
問 合 せ 先 取締役上席執行役員 藤本博文
TEL 078 - 303 - 9220

「プライム市場」の上場維持基準への適合状況ならびに 「スタンダード市場」への選択申請および適合状況のお知らせ

当社は、2021 年 12 月 10 日に、プライム市場の上場維持基準のうち「流通株式時価総額」に適合していないことを受け、上場維持基準の適合に向けた計画書（以下「適合計画書」といいます。）を提出し、その内容について開示しております。2023 年 2 月 28 日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況および適合に向けた進捗について、下記のとおりお知らせいたします。

また、2023 年 4 月 1 日施行の株式会社東京証券取引所の規則改正に伴い、スタンダード市場への上場の再選択の機会が得られたことから、2023 年 5 月 22 日開催の取締役会で同市場への選択申請を行うことを決議し、申請いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

01 事業報告

02 連結決算報告

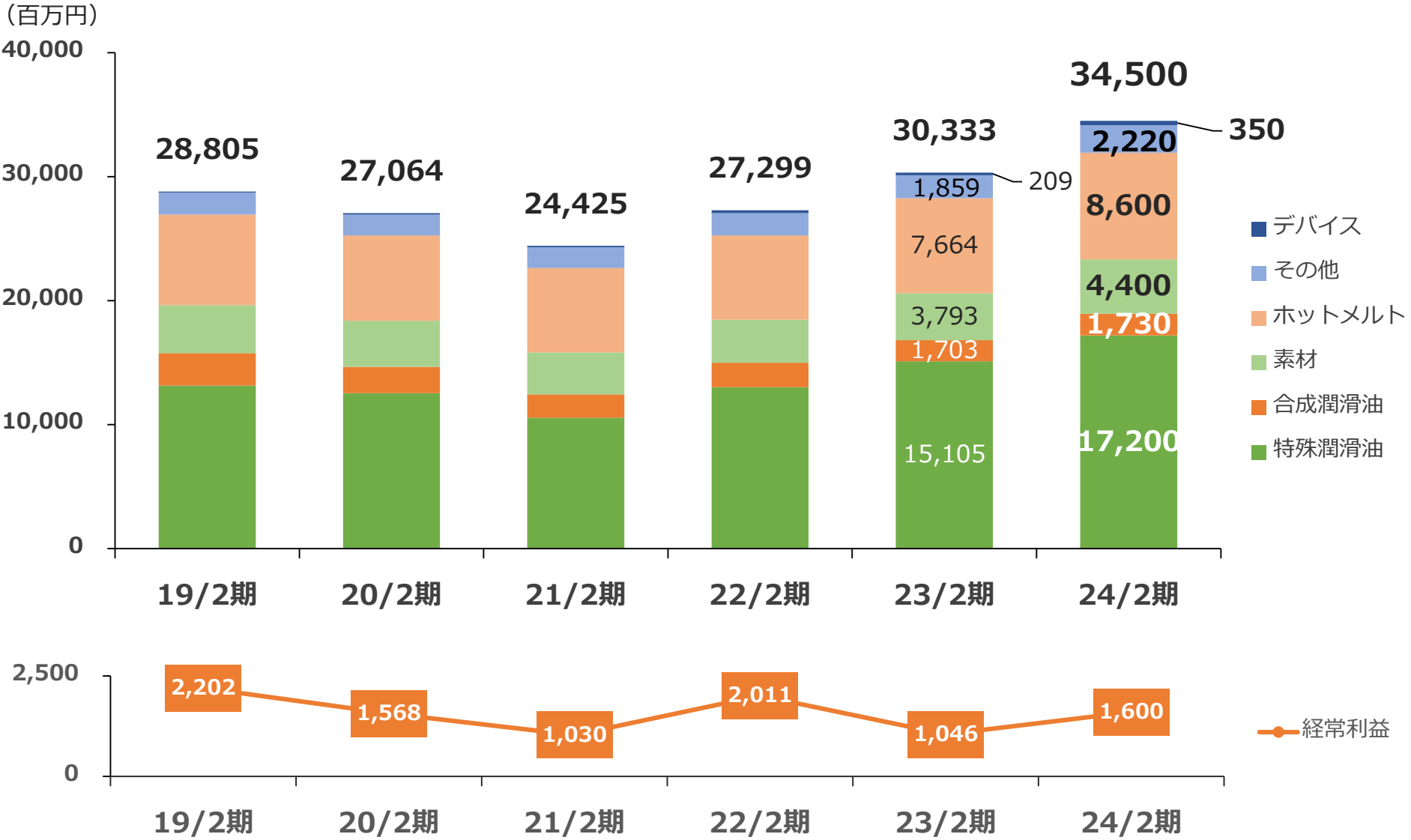
03 市場区分の選択

04 第9次中期経営計画の進捗状況

05 持続可能社会の実現に向けた成長戦略

06 株主総会議案及び取締役紹介

売上高（部門別）及び経常利益推移



01 事業報告

02 連結決算報告

03 市場区分の選択

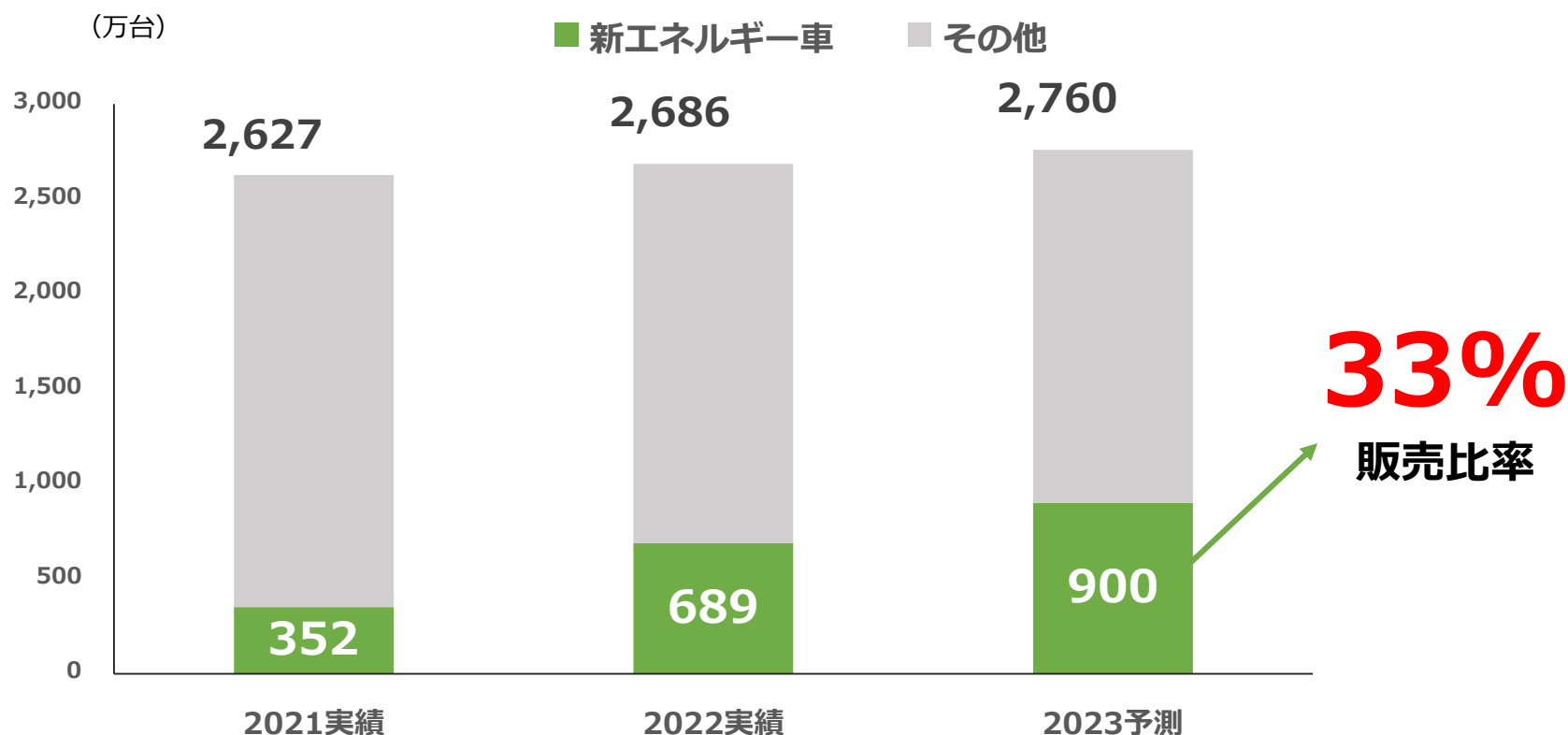
04 第9次中期経営計画の進捗状況

05 持続可能社会の実現に向けた成長戦略

06 株主総会議案及び取締役紹介

- 非鉄系金属向けの新たな離型剤や切削油剤等の開発と拡販に注力
- 中国R&D体制の強化を進め、環境関連の市場を取り込む

中国国内自動車販売台数推移



出典：中国自動車工業協会の統計データに基づく自社作成

*中国政府は電気自動車（EV）とプラグインハイブリッド車（PHV）、燃料電池車（FCV）を新エネルギー車と区分する

➤ 気候変動及び生物多様性に貢献

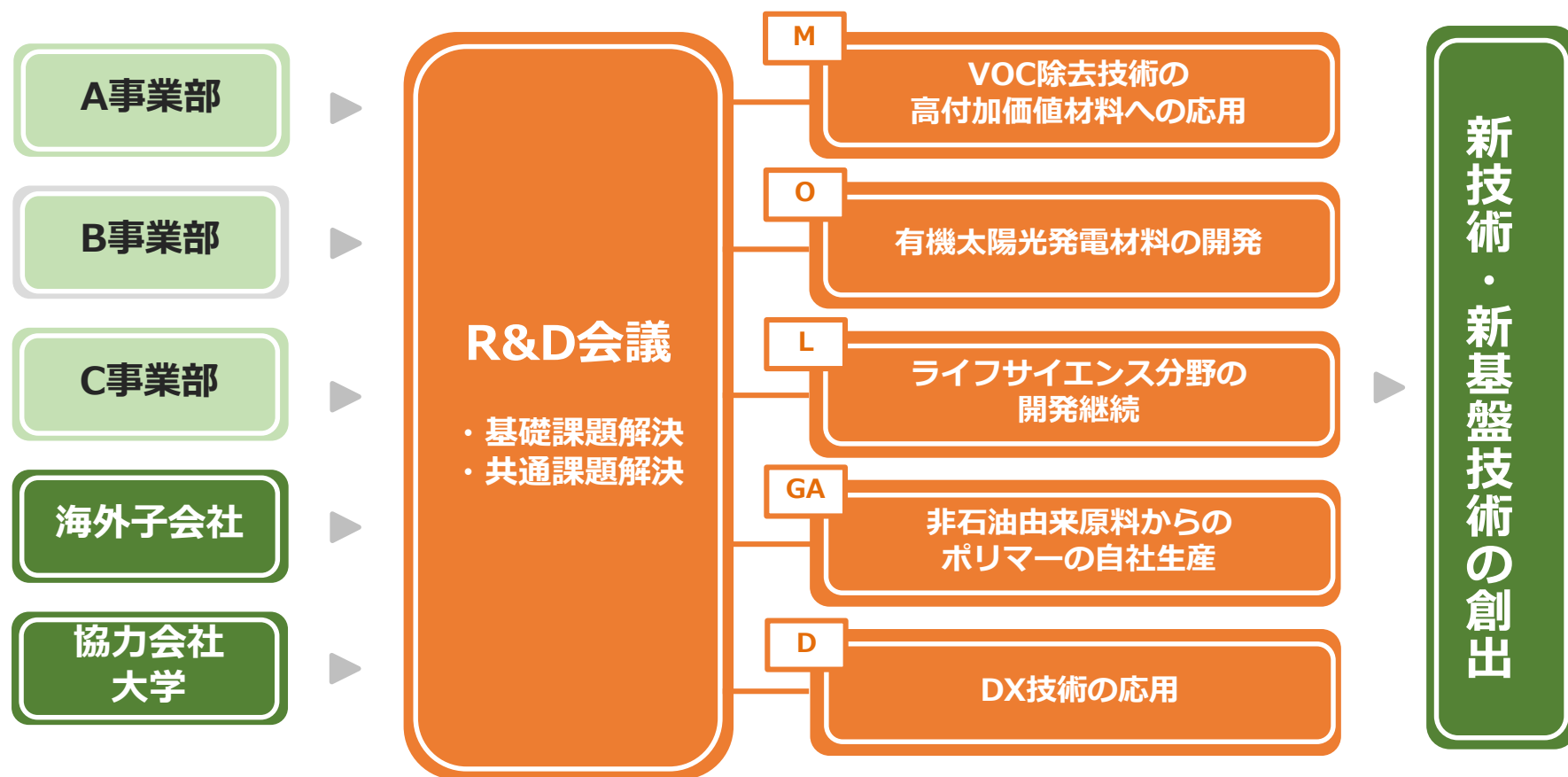


* ダイガストマシン 1 台当たりの計算数値

CO2削減量
7.5_T/年

廃水削減量
200_T/年

- ・ 事業部を横断し、社内間及び産官学と連携した開発体制
- ・ 全社横断的なプロジェクト**MOLGAD**の立ち上げ



産学連携で有機薄膜太陽電池（OPV）の発電効率向上の材料開発



「Playable Week 2023」
高輪ゲートウェイ駅の開業 3周年記念イベント

CO₂ペイバックタイム*（月数）

単結晶Si系太陽電池	42
OPV（発電効率 5 %）	13 ← 現状
OPV（発電効率10%）	6 ← 開発目標

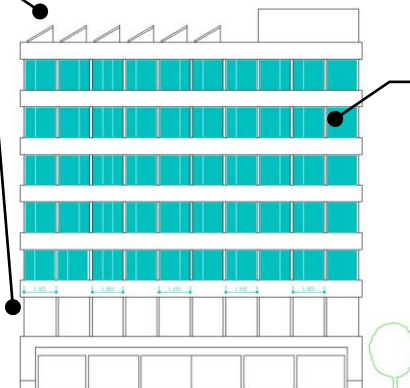
* 材料からデバイス製造までに生じたCO₂の太陽光発電による回収期間

OPVとペロブスカイト型（非シリコン型太陽電池）の併用による効果的発電

既存ビルの屋上や壁面へ施工可：
ペロブスカイト系太陽電池

Si系太陽電池より
軽量・高効率

ペロブスカイト用太陽電池向け
高性能封止剤を開発・評価中



透明・軽量・意匠性

ビルの窓部、室内
OPV（シースルー）

大学発ベンチャーと 創薬の共同研究開発を推進



生活習慣病改善を期待できる
オートファジーを対象とした創薬活動を推進
薬理活性が向上した重要化合物を取得

**2023年度
第一弾の特許出願予定**



オートファジー研究は、老化に関連する様々な現象や疾患の予防・治療へつながる研究

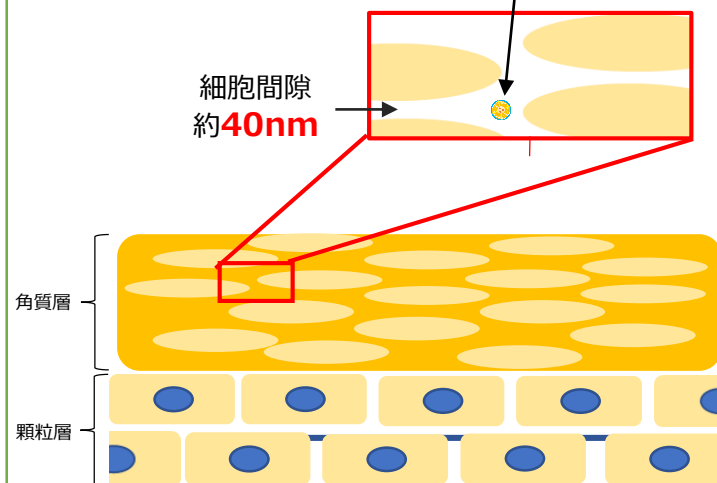
大手化粧品メーカーで サンプル評価中

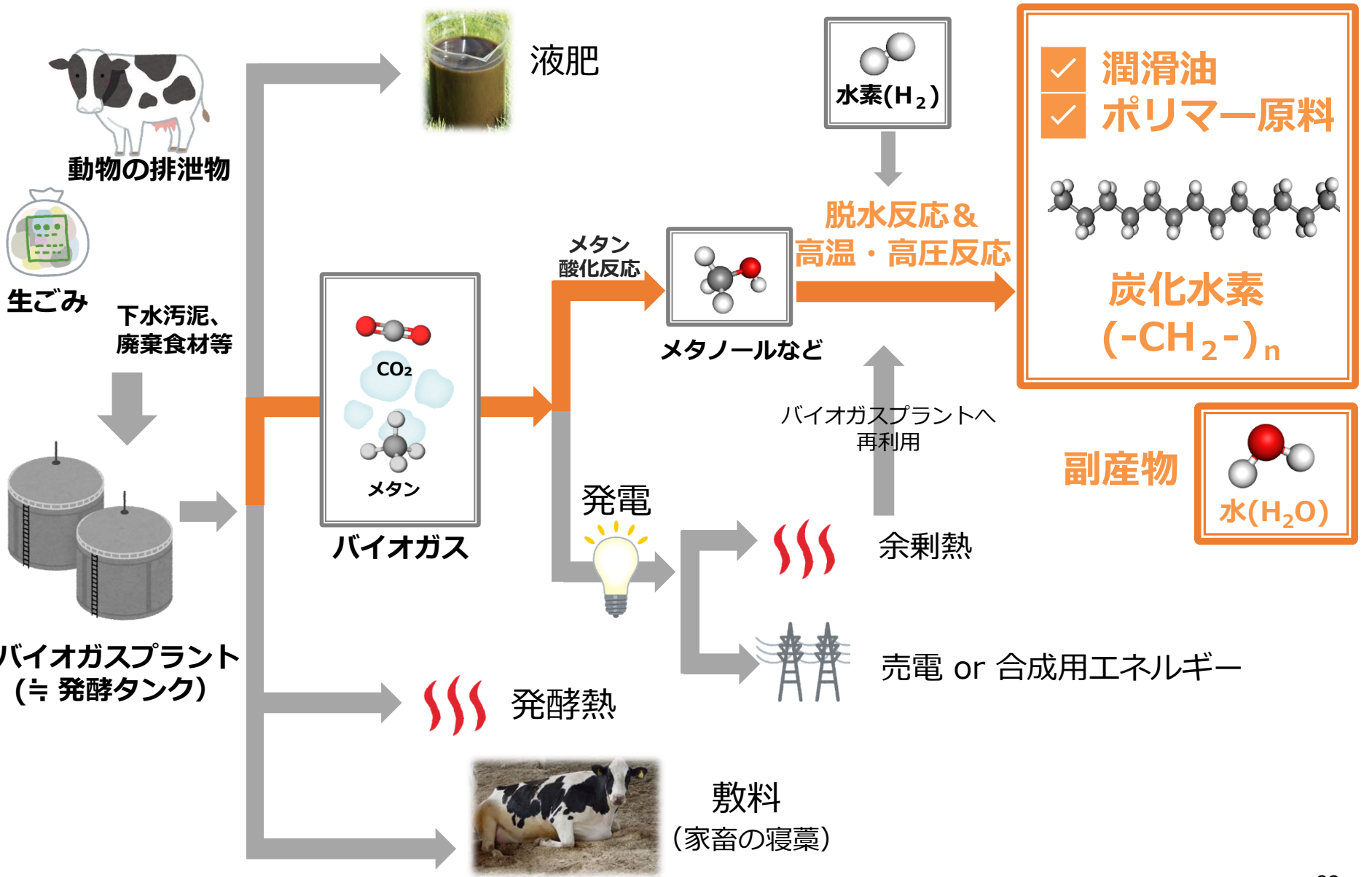
アンチエイジングや日焼け止め向け
ナノエマルジョンで機能性を高める効果が
期待できる

ナノエマルジョン
MORESCO-NANOREACH

12nm

細胞間隙
約**40nm**





- 各エリアに担当執行役員を配置し、顧客ニーズを迅速に対応
- エリア別のR&D機能を強化し、新商品の上市を加速

中国

- ・ 新工場の早期安定化
- ・ 開発体制の強化（R&Dセンター新設）
- ・ 新エネルギー車への牽引役

★ 本社

北米

- ・ 同業他社との連携検討
- ・ 米系顧客への販売強化
- ・ メキシコ法人設立検討&事業拡大

東南・南アジア

- ・ タイにおける事業拡大&体制整備
- ・ ASEANのホットメルト事業拡大

IRに関する情報発信のツールを拡充し、積極的に投資家への対話を行う

- ◆ 2023年3月1日付けでCFO傘下にIR部を新設し、統合報告書（日英）への対応等の発信機能を強化します。

	サステナビリティ特設ページ	TCFD提言に基づく情報開示	ESGデータ開示	人権DD	人的資本経営	TNFD	統合報告書掲載
2022年5月	●						
2022年11月		●	●				
2023年				●	●		
2024年						●	●

2030年までに自社消費エネルギーによるGHG排出量を**46%**削減（2013年対比）

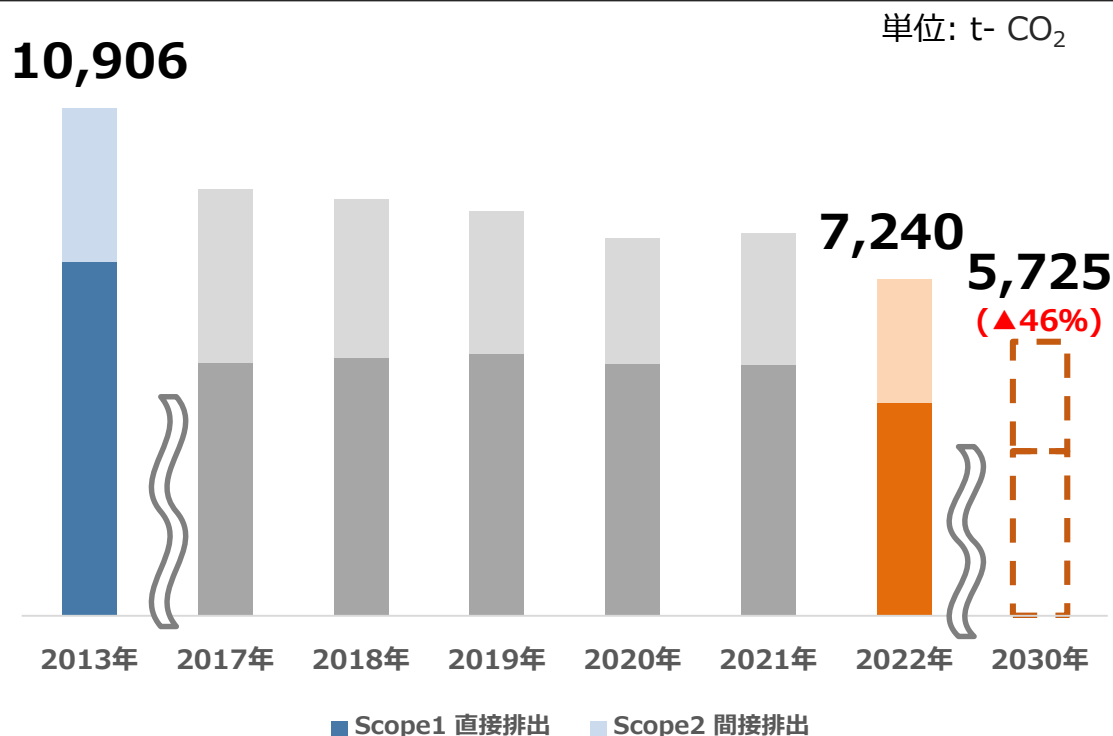
サプライチェーンを含め、**2050年**までに**カーボンニュートラル**を実現

GHG排出量 **Scope 3** の目標設定を今期中公開に向けて調整中



2022年11月11日
賛同表明

MORESCOグループ（国内）のGHG排出量推移



2013年対比

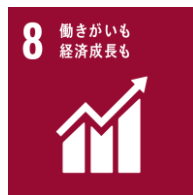
2021年 ▲24%

2022年※ ▲33%

※2022年削減率は当年度確定前の電力排出係数を使用した暫定数値

健康経営優良法人(大規模法人部門)

3 年連続認定

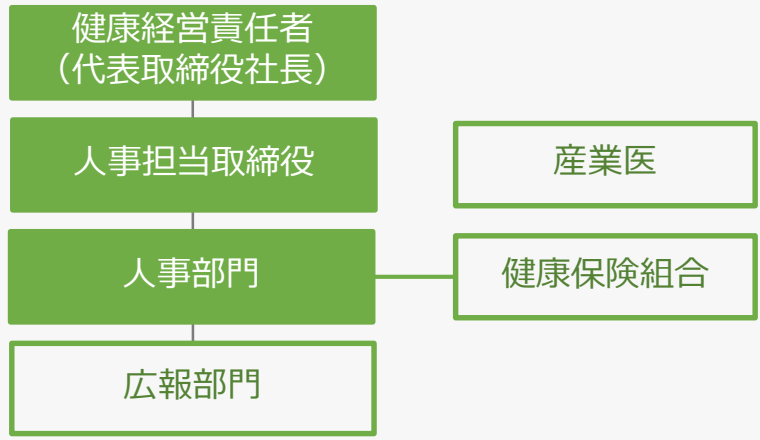


※特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度（経済産業省）

健康経営宣言

MORESCOは、従業員が心身ともに健康であることが、企業の持続的な発展に不可欠と考え、
「一人一人が豊かな環境で育ち、新たな価値を育てていく会社」を実現するため、従業員の健康づくりを推進していきます。

体制



01 事業報告

02 連結決算報告

03 市場区分の選択

04 第9次中期経営計画の進捗状況

05 持続可能社会の実現に向けた成長戦略

06 株主総会議案及び取締役紹介

・ 剰余金の処分の件

1. 期末配当

普通株式 1 株につき金 2 0 円

総額 1 8 4, 5 5 0, 6 0 0 円

(年間配当金・・ 1 株につき 4 0 円)

2. その他剰余金の処分

繰越利益剰余金から 4 億 5 千万円を、別途
積立金に積み立て

- **取締役5名選任の件**（監査等委員である取締役を除く）

候補者

両
瀬
坂
藤
富

角
脇
根
本
士

元
信
康
博
ひろ

寿
寛
夫
文
子

- **取締役**（監査等委員である取締役を除く）

両	角	元	寿
瀬	脇	信	寛
坂	根	康	夫
藤	本	博	文
富	士	ひろ	子



- この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。
- 本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。
- なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。